

2023年11月21日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第5期 第3回（通算62回）

教育DXにおけるデジタル庁の取組と今後の方向性

1. 内容

- ・関係省庁の役割分担
- ・準公共分野・相互連携分野のデジタル化 *デジタル庁の施策背景
- ・教育データ利活用ロードマップ
- ・教育分野におけるデータ連携の考え方
- ・令和4年度・令和5年度のデジタル等の取組、令和6年度に向けて
- ・デジタル庁行政改革

2. 所感

本日は、教育DXにおけるデジタル庁の取組と今後の方向性について、非常に丁寧にそしてわかりやすくご説明いただきました。理解がとても深まりました。その中でデジタル庁が特に重視されているポイントもつかめました。教育DXによる仕事の仕方の見直しで楽になった実感を持ってもらう。これは先生に限らずというように感じました。それに関連して、校務支援システム間のデータのやり取り、デジタル教材を活用する名簿登録簡素化、高等学校入学者選抜における出願等に関わる手続きの簡素化の3つをお話いただきました。タイ日本国大使館時代に、皆さんが各種卒業証書を持ってこられるが、依頼するほうも出すほうも大変だろうといった経験も交えて、このようなことを改善したいと。これまでの学校のデジタル化は、学校関係者にとっては、ある意味中途半端で、面倒くさくなった印象しか持たれていないかもしれないが、今回は本気でありこれまでとは異なる、と優しい口調ではありましたが強調されていました。質疑、議論の時間では、教育のデジタル化による教育効果の質問もありました。教育のDX化によって、子ども達の学ぼうとする意志は強まっているとの現場の声を紹介いただきました。単元データやPDS、個人情報管理まで質問は広がりましたが、これからはスーパーティーチャーしかわからなかったことが、教育データの蓄積と活用で、多くの先生ができるようになるかもしれない、救えなかった子どもたちを救えるかもしれない未来もお話いただきました。久芳さん、本日は、とても穏やかな表情・口調の中に、実現するぞとの強い想いを感じる1時間でした。誠にありがとうございました。

以上